

平成 29 年度日本放射線技師連盟第 2 回理事会
議事録

日時：平成 29 年 12 月 16 日（土）16 時 30 分～17 時 50 分

場所：公益社団法人日本診療放射線技師会事務所
（東京都港区浜松町 2-4-1 世界貿易センタービル 31 階）

出席者：

理事：中澤靖夫（理事長）、篠原健一（副理事長）、佐野幹夫（副理事長）、江田哲男、
小川 清、小田正記、北川明宏、熊代正行、児玉直樹、小林一郎、富田博信
轟 英彦、中澤洋治、橋本 薫、板東道夫、吉浦隆雄
監事： 田城邦幸

欠席者：

理事：井戸靖司、大塚 亨、畦元将吾、播間利光（監事）

<理事長挨拶>

- ①柔道整復師法改正案について、JART 地域理事は所属の各県会長に提出を促していただきたい。
- ②第 48 回衆議院議員総選挙の結果、畦元理事は次点だった。本人は今後も立候補したいと思っている。
- ③第 48 回衆議院議員総選挙の際、10 月 10 日橋本岳出陣式（中澤理事長）、鴨下一郎出陣式（篠原副理事長、JART 野村事務局長、木村）に参加。また、立法府への要望活動、各議員への要望活動など資金が必要である。2019 年の第 25 回参議院議員通常選挙に向けて、どう活動していくか。

<議事>

1. 平成 30 年度事業案・予算案について【資料 1-1～1-2】
資料 1-1 に基づき、中澤理事長より、来年度の事業計画案の説明があった。
資料 1-2 に基づき、事務局より、来年度の予算案の説明があった。
→（結果）承認
2. 会費納入規程の改正について【資料 2】
資料 2 に基づき、事務局より、会費納入規程の改正案の説明があった。
改正案：年間 1 口 2,000 円で 1 口以上
熊代副理事長より、付則の追記について、指摘があった。
→（結果）本日の日付で改正することを付則に追記することで承認
3. 平成 30 年度役員改選について【資料 3】
事務局より、来年度は役員改選時期であることが説明され、中澤理事長より、現役員に引き続き、次期もお願いしたいと提案があった。
→（結果）承認
4. 柔道整復師法改正案について【資料 4】

資料 4 に基づき、佐野副理事長より、柔道整復師法改正案の反対表明について、説明があった。

→ (結果) 承認

(意見)

- ・署名活動をしてはいかがか。
- ・まず、47 都道府県の表明が先だろう、JART 地域理事は所属の各県会長に提出を促すこと。→JART 総務担当理事がリサーチ中、次回理事会までにまとめる。
- ・署名活動は重要な手段だが、一般の人にも広めると、取り合いをしている団体として、奇異の目で見られないだろうか。
- ・署名活動の対象者はよく検討した方が良い。(診療放射線技師、医療職、学生など)
- ・全会員がこの問題を理解し、自覚を持つべきである。
- ・技師会と連盟が協力して活動していくべき。政治に関心がなく、重要性を感じていない会員が多い。これを機に盛り上げたらどうだろうか。
- ・この改正案が成立すると、独占業務が崩れる、本気にならないと、次は歯科衛生士が主張してくることになる。まず、技師会で知らしめる必要がある。洗脳活動が必要。

5. 入会促進について【資料 5】

立法府への要望活動、各議員への要望など、資金が必要。全国会長会議後、少しは増えたが、まだまだである。入会促進に向けて活動を続けていく。

→ (結果) 承認

(意見)

- ・本会ならびに 47 都道府県の web ページに連盟ホームページのバナーをつくり、リンクしてはいかがか。
- ・地域学術大会などで、連盟のブースを設けてはいかがか。
- ・技師会が設立される際には政治活動をしていた、連盟の活動は別だと思っている若い会員がいる、認識が足りない。
- ・具体的に立候補者が身近に見えるのが近道かもしれない。
- ・会員 0 の県 (福島県、山梨県、宮崎県) は JART 地域理事が確認していただきたい。

6. その他

次回理事会は 2 月 24 日 (土) JART 理事会時の予定。

以上